

- 問1 青森県の人口構成の変化について、1980年頃に見られた「底辺が広く若年層が多い状態」から、2020年頃の「少子高齢化が進行し、若年層が減少し高齢層が増加した状態」への人口ピラミッドの型の推移を表す組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 富士山型からつぼ型へ
 - ひょうたん型からつりがね型へ
 - つぼ型から富士山型へ
 - つりがね型から星型へ
- 問2 東北地方の工業に関する統計において、製造品出荷額の構成比を確認すると、金属工業が21.3%、化学工業が16.4%であるのに対し、約4割にあたる39.9%を占めて最大となっている産業部門を選択してください。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- パルプ・紙工業
 - 機械工業
 - 繊維工業
 - 食料品工業
- 問3 東北地方において、冬の時期に伝統的工芸品の製造が発達した地理的な理由として、最も適切な記述を選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
- 冬は一年の中で最も温暖で乾燥した気候となり、塗料や木材の乾燥に最も適していたから
 - 冬は一面が雪でおおわれ屋外の農作業ができなため、その農閑期を利用して手作業を行ったから
 - 冬の時期だけに海外からの輸入原材料が港へ大量に届き、集中的に加工する必要があったから
 - 冬は降水量が非常に少なく日照時間が長いから、屋外での作業効率が向上したから
- 問4 山形県や福島県の内陸部に位置する盆地の農業について、地形の特色と結びつけた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- 山に囲まれた低地特有の水はけの良さを活かして、さくらんぼやももなどの栽培が盛んである
 - 標高が高く夏でも涼しい気候を活かして、キャベツやレタスなどの高原野菜が栽培されている
 - 広大な平坦な土地と豊かな水を活かして、日本有数の米の単作地帯となっている
 - 海岸沿いの平野部で、冬の温暖な気候を利用したビニールハウスによる促成栽培が行われている
- 問5 東北地方に位置し、一日の寒暖差が大きい気候を活かした果樹栽培が盛んな県について説明します。明治初期からさくらんぼの栽培が始まり、現在その収穫量が全国1位であるほか、りんごやぶどう、日本なしの生産でも全国的に高い水準にある県はどこですか。（2025年 東京都公立入試 類似）
- 静岡県
 - 和歌山県
 - 岡山県
 - 山形県
- 問6 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年较差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため
 - 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため
 - 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため
 - 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため
- 問7 日本の都道府県における年齢別人口構成の変化について述べた文として、正しいものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも65歳以上人口の割合が高かった。
 - 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高かった。
 - 2020年時点では東京都などの大都市の方が、青森県などの地方県よりも高齢化率が高くなっている。
 - 2020年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高くなっている。
- 問8 東北新幹線と秋田新幹線の分岐点である盛岡駅がある県において、古くから受け継がれている伝統的工芸品として正しいものはどれか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- 南部鉄器
 - 樺細工
 - 天童将棋駒
 - 津軽塗
- 問9 東北地方の南部に位置し、都道府県別の面積において北海道、岩手県に次いで全国で3番目に大きい約1.4万平方キロメートルの面積を持つ県について、その工業的特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- 県庁所在地の1月の日照時間が130時間を超える太平洋側の気候を活かし、広大な平野部で自動車の組み立て工場が集中している。
 - 伝統的工芸品である会津塗の産地として知られるほか、高速道路網の整備に伴って内陸部に電気機械工業が発展した。
 - 内陸部の盆地を中心に果樹栽培が盛んで、それらの加工を目的とした食料品工業の出荷額が全国1位となっている。
 - 日本海側の雪の多い気候を活かした繊維工業が古くから発展しており、現在も化学繊維の生産量が全国で最も多い。
- 問10 本州最北端に位置する青森県の産業的特徴について、統計から読み取れる傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、この県の統計では製造品出荷額等が約11兆円、米の産出額が666億円、延べ宿泊者数が約2万4千という数値が示されています。（2020年 新潟県公立入試 類似）
- 伝統的な農業県としての特色を維持しており、米の産出額が製造品出荷額等を大きく上回っている。
 - 米の産出額などの農業生産に比べ、製造品出荷額等に代表される工業生産の規模が極めて大きい。
 - 第一次産業から第三次産業までが均衡しており、製造品出荷額等と米の産出額の差がほとんど見られない。
 - 観光業が産業の柱となっており、延べ宿泊者数に関連するサービス業の収益が工業生産を凌駕している。
- 問11 東北地方の太平洋沿岸部では、夏季にオホーツク海高気圧から「冷たく湿った北東の風」が吹き込むことで、気温が上がらず農作物の生育に悪影響を及ぼすことがあります。この風の名称として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- やませ
 - からっ風
 - フェーン現象
 - 季節風（北西の風）
- 問12 東北地方の岩手県盛岡市付近では、古くから鑄鉄を材料とした工芸品が生産されており、現在は経済産業大臣によって伝統的工芸品に指定されています。この工芸品の名称と、その生産における原材料の運搬や製品の流通を支えた河川の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
- 天童将棋駒 — 雄物川
 - 会津漆器 — 阿武隈川
 - 南部鉄器 — 北上川
 - 南部鉄器 — 最上川
- 問13 東北地方で生産されている伝統的工芸品と、その主な生産地の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 京都府公立入試 類似）
- 青森県の津軽塗
 - 秋田県の天童将棋駒
 - 岩手県の樺細工
 - 山形県の南部鉄器
- 問14 東北地方などにおいて、高速道路のインターチェンジ付近に半導体や自動車部品などを製造する工場が集まる区域が多く見られます。このように、計画的に工場を集積させるために整備された一画を何といいますか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 工業団地
 - 商業地域
 - カルデラ
 - 臨海工業地帯